

# ■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの文書

(平成25年3月14日)

団007-1

## 住民との対話なき「早期建設」の説明会 皆さんに訴えます !!

北杜市は本日2月27日の中部横断自動車道長坂～八千穂間の八ヶ岳南麓新ルート案の「早期建設」の説明会を、一般住民を締め出し行おうとしました。しかし、多くの住民の強い抗議でようやく説明会への参加・傍聴を認めました。

道路建設には多くの家や田畑や景観が犠牲になります。ですから、地域によっては道路建設に住民が参加して構想段階から検討がされるようになっていきます。しかし今回の中部横断道(八千穂～長坂間)の新ルート提案はこれまでのアンケートにも全く提案されていないルートが突然な形で出されました。当然にも多くの人が全くの「寝耳に水」のことであり、不安に陥り、憤り、納得できませんでした。

私たちは中部横断道に反対しているわけではありません。新ルート案を撤回し八千穂・長坂間の山梨県側に関して「どのような道路にするのかルートはどうかを住民がともに考えてより望ましい答えを出すプロセスを作りたい」と願っているのです。

国交省が突然に提案した新ルート提案を容認して早急に進めるといふ北杜市の考えとはその点で真っ向から異なっています。

北杜市は「災害時の代替路の必要性」を主張しています。長野県側のように国道141が1本しかない状態なら代替路が必要です。しかし八ヶ岳南麓は八ヶ岳横断道、国道141号、県道28号線、広域農道をメインに網の目のように道が作られています。

国の説明会では今回提示された新ルート案には多くの問題があることが明確になりました。そのことを冷静になって考える必要があると私たちは主張しています。

八ヶ岳南麓新ルート案地域は国交省による「日本風景街道」の一つ、「八ヶ岳南麓風景街道」として登録されている地域です。ほんの一時期の人間の満足を得るために、私たちの宝、八ヶ岳南麓の自然を破壊して良いのでしょうか。

北杜市は、北杜市民憲章に基づき「環境日本一の潤いの杜づくり」を目指しています。この言葉にたがわず住民とともにある市政を進めてほしいと願っています。

中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会

団007-2

## 八ヶ岳の景観を壊す高速道路はいらない!

八ヶ岳南麓のすばらしい景観、豊かな森と古くからの集落の中を切り裂いて中部横断自動車道(長坂～八千穂)の計画が進んでいます。

国は借金 1,000 兆円を抱え、大震災、原発事故からの復興もままならない中、長坂～八千穂間で 2,000 億近くの税金を使って建設しようとしています。

また、笹子トンネルの天井崩落事故は、老朽化した道路、橋梁、トンネル等の維持管理が安心安全のため何より優先して取り組まなければならないことを示しました。その経費は今後 50 年間で 190 兆円とされています。

このような中で、需要予測や、費用対効果も明らかにしないで、突然のルート変更や国道改修の住民要望の無視など不誠実な対応のままに 3 月にも計画を決めようとしています。

私たちは、八ヶ岳南麓の美しい風景やおいしい水、澄んだ空気を守り、さまざまな鳥や動植物、ホタルが飛び交う自然を守りたいと思っています。どうか皆さん、一人でも多くの方が、この高速道路建設反対の声を国に届けるため署名活動等にご協力下さいませようお願いします。

中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会



ホームページ: <https://sites.google.com/site/odandonewroot/>



ネット署名: <https://www.change.org/ja/> キャンペーン / 八ヶ岳の景観を壊す高速道路はいらない







# ■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの文書

(平成25年3月14日)

団007-7



## <説明会を聞いて>

### 大きな問題点—新ルートの決め方

大泉の説明会での2日間の参加者は458名、意見者は約50名でした。賛成意見は1名(明野在住者)、あとは反対意見でした。

説明会での国交省の言い分は「コミュニケーション活動をし、2回のアンケート活動をし、その結果、旧有料道路を使うルート案は料率や環境問題があるので撤回をし、新ルートを提案します。」というものです。この新ルートはアンケートの設問にもないものです。これでは多くの人が混乱をしてしまいます。何回説明を聞いてもコミュニケーション活動と新ルートがどうしても結びつきません。ここに多くの人が納得のいかない点があるのです。特に新ルート上に位置している人はまさに「震耳に水」、国交省がコミュニケーション活動を重視しているのはこういう人が出ないようにしているのではないのでしょうか？この決め方が一番の問題点です。旧有料道路を使うルート案を撤回するのなら白紙に戻してあらためてコミュニケーション活動をすべきです。このことをしない限り中部横断道路問題は前にすすみません。

アンケートで多くの方が「国道141の改良案」を選びました。

何故でしょう。「国道141の改良案」は利点が多いのです。一つは莫大な費用が掛からない、二つは環境と生活する人にダメージを与えない。そして三つ目は国道141沿線の商店にやさしいということです。逆に言えば新ルート案は莫大な費用(1800億円)をかけて多くの人の静かな生活を破壊し、国道141をはじめとした一般道路沿線の空洞化をもたらすことになるのです。

住民説明会では、さまざまな「**計画段階評価の不備**」が指摘されました！

では、**計画段階評価**とは一体どんな取り組みなのでしょう？

\*アンケートの配布・集計方法について、道路整備の目的となる解決すべき課題の根拠について etc

☆ 中部横断自動車道(長坂～八千穂)は、現在「**基本計画区間**」です。



計画段階評価

地域の声を聞きながら、事業着手前の計画段階において、事業の評価を行う新しい取り組みです。

主にアンケートを使って地域の声を集計する予定でしたが???

☆ **事業化(事業着手)**

上記の様に、公共事業の実施過程の透明性を一層向上させ、事業の必要性の検証をする為の計画段階評価は、国交省の「高連建設ありき」の旧態依然とした手法により、民意は正しく伝えられませんでした。今後、国交省がどのような報告をWG・地方小委員会へ行うのか、しっかりと見ていく必要があります。これからも、私達の民意を伝えていけば、変更・撤回も不可能ではありません！

# ■「八ヶ岳リゾートアウトレット」からの要望(平成25年5月14日)

団008

## 中部横断自動車道(長坂～八千穂)に関する要望

中部横断自動車道(長坂～八千穂)の計画の検討にあたっては、次の事項にご配慮願います。

- 災害時の避難路確保及び
- 地域活性化に向け、早期着工を要望します。
- 

以上。

平成25年5月14日

国土交通省関東地方整備局  
甲府河川国道事務所長 吉岡 大蔵 様

山梨県知事 横内 正明 様

北杜市長 白倉 政司 様

八ヶ岳リゾートアウトレット  
[Redacted]

# ■「山梨県南アルプス市観光協会」からの要望(平成25年5月15日)

団009

## 中部横断自動車道（長坂～八千穂）に関する要望

中部横断自動車道（長坂～八千穂）の計画の検討にあたっては、次の事項にご配慮願います。

◎ 1年でも早く全線開通をお願いします。

私たちの山梨県は、海の無い県ですので、美しい海を見ることがやおいしい魚を食べることに幼いころからあこがれを抱いておりました。

おかげさまで、ここ南アルプス市には2つの中部横断自動車道のインターチェンジがあり、首都圏や中京圏からのアクセスがとてよくなりました。また、静岡方面への中部横断自動車道の工事も順調に進み、数年後には開通するとのことで私たちは大いに期待をしているところです。

しかし、長坂から八千穂を通り新潟県に抜けることのできるアクセスは、未だ凍結したままです。静岡県の太平洋・新潟県の日本海。この2つの海が中部横断自動車道で繋ぐことで国内の物流や港への円滑なアクセスがスムーズになり産業の発展に大いに寄与できるものと思われます。

山梨県民、特にこの県の西側に住む県民はもとより、静岡県・長野県・新潟県にとっても長年の夢であります。

1つの道路で繋がることにより、観光はもとより、いつ起こるともしれない災害時における医療活動においても重大な役割を果たす道路網の1つと位置づけされる中部横断自動車道の1年でも早く全線の開通を切に希望したいと思ひます。

以上。

平成25年5月15日

国土交通省関東地方整備局

甲府河川国道事務所長 吉岡 大蔵 様

山梨県南アルプス市観光協会



# ■「山梨県農業会議」からの要望(平成25年5月15日)

団010

## 中部横断自動車道（長坂～八千穂） に 関 する 要 望

中部横断自動車道の整備は、新東名高速道路、中央自動車道及び上信越自動車道への接続により、日本海及び太平洋の臨海地域と長野・山梨両県との連携・交流の促進、沿線の方々が安心して暮らせるネットワークの構築、物流体系の確立及び広域的観光ゾーンの開発・支援等に寄与するものとして期待が高まっています。

よって、中部横断自動車道の早期全線開通と、長坂・八千穂間の計画の検討にあたっては、沿線住民の意向を十分反映させるとともに、とりわけ農地の買収にあたっては、代替え農地の取得等、農業者の意向を十分踏まえた対応を要望します。

平成25年5月15日

国土交通省関東地方整備局

甲府河川国道事務所長 吉岡大蔵 様

山 梨 県 農 業 会 議



# ■「南アルプス市商工会」からの要望書(平成25年5月15日)

団011

## 中部横断自動車道（長坂～八千穂）に関する要望書

中部横断自動車道（長坂～八千穂）の計画の検討にあたっては、  
次の事項にご配慮願います。

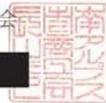
- ① 東海沖地震の発生が懸念されている現在、首都圏における環状ネットワークを形成するため中部横断自動車道は一日も早い全線の開通を必要とする。
- ② 山梨県は観光立県であり、県民の所得が向上していくためにも、観光・農業・商業等が連携していく必要があり、中部横断自動車道の早期全線開通は県民全体の願いである。
- ③ 県民全体の願いである中部横断自動車道も建設計画策定について、一部地域の反対意見に惑わされず県民全体の声を反映していくべきである。
- ④ 建設予定地は自然環境や景観に優れたエリアであり自然環境に配慮した建設ルートが望まれるが、建設することが地域住民すべてが安全安心で豊かな地域づくりに貢献していくことを確認していくべきである。

平成25年5月15日

国土交通省関東地方整備局

甲府河川国道事務所長 吉岡 大蔵 様

南アルプス市商工会



# ■「山梨県中小企業団体中央会」からの要望(平成25年5月17日)

団012

## 中部横断自動車道(長坂～八千穂)に関する要望

中部横断自動車道の全線開通は、海を持たない内陸県の本県にとって、日本海及び太平洋の臨海地域との連携交流が容易になり、本県の物流体系の大幅な改善や広域的観光ゾーンの開発に大きく寄与するものと思われます。

今回、中部横断自動車道(長坂～八千穂)のルートが検討されていますが、地域の日常生活や物流を支える国道141号の代替路となり得る道路であり、安全性の向上や物流の効率化に不可欠であります。さらに、全区間の開通により、現在心配されている首都直下型地震等の大規模災害発生時の代替路としての機能等は、国土全体の安全性の確保の観点からも重要であります。

つきましては、計画の検討にあたって次の事項にご配慮願います。

- 地域や広域の代替路としての機能は、中部横断自動車道の全線開通により効果が発揮されるものであり、整備計画区間への早期の格上げを要望します。
- ルートの決定にあたっては、本県有数の観光地である八ヶ岳南麓観光圏への来訪者や地域の生活道路としての位置づけを重視いただき、国道141号へのアクセスに考慮するよう要望します。
- 現在のルートの検討案には、一部区間に一般道を利用する案も提示されていますが、自動車専用道路から一般道を通過することによる走行安全性の低下と代替路としての機能の低下についても十分な検討を要望します。

以 上

平成25年5月17日

国土交通省関東地方整備局  
甲府河川国道事務所長 吉岡大蔵様

山梨県中小企業団体中央会



# ■「株式会社キッツ 長坂工場」からの要望（平成25年5月20日）

団013

## 中部横断自動車道（長坂～八千穂）に関する要望

中部横断自動車道（長坂～八千穂）の計画の検討にあたっては、次の事項にご配慮願います。

1. 特に永年に亘り、対象区域に居住している住民の意思は尊重されたい。
2. BCP の観点も含め災害時や事故時等に代替幹線となり得る道路を構築する事は、国内経済（流通面）の停滞回避や復旧・復興に大きな役割を果たすと思われる。係る観点から陸の孤島となり得るエリアだけに早期構築を望む。
3. 弊社の社業として、物流網となり得る当該道路の整備は、物流面のコストとスピードの観点から必要性がある。人々の生活を支える製造業として、良い物を早く安く届けられる事は、ゆたかな社会づくりに繋がるものと考えます。

以上。

平成 25 年 5 月 20 日

国土交通省関東地方整備局  
甲府河川国道事務所長 吉岡 大蔵 様

株式会社キッツ 長坂工場



# ■「一般社団法人山梨県バス協会」からの要望(平成25年5月20日)



団014

## 中部横断自動車道(長坂～八千穂)に関する要望

中部横断自動車道(長坂～八千穂)の計画の検討にあたっては、次の事項にご配慮願います。

- B案を要望
- 初期の建設計画に基づき、早期建設促進を要望する。
- 清里地域へ接続するインターチェンジの設置  
(地域振興や地元・観光客利便性を図る)

以 上。

平成25年5月20日

国土交通省関東地方整備局

甲府河川国道事務所長 吉岡大蔵様

一般社団法人山梨県バス協会



# ■「韮崎市商工会」からの要望(平成25年5月20日)

団015

## 中部横断自動車道(長坂～八千代)に対する要望

中部横断自動車道は、静岡県静岡市から山梨県を經由し長野県佐久市を結ぶ高速自動車国道であります。

すでに増穂IC～双葉JCT間、佐久南IC～佐久小諸JCT間は開通し、平成28年度には増穂IC～新清水JCT間が開通する計画で工事が進められています。

韮崎市は古くから甲州街道(国道20号線)と佐久街道(国道141号線)、富士川街道(国道52号線)が交差する交通の要所であり、物流の拠点として栄えてきた歴史があります。

このため、道路が経済に及ぼす影響(経済効果)については身を持って体験してきたところであります。

つきましては、長坂～八千代間につきましても、地域経済に好影響を与えるルート選択を速やかに行い、できるだけ早く全線開通し、静岡、山梨、長野間の経済や文化の交流がさらに推進されるよう建設促進を要望します。

平成25年5月20日

国土交通省関東地方整備局

甲府河川国道事務所長 吉岡大蔵様

韮崎市商工会



# ■「一般社団法人北杜市観光協会」からの要望(平成25年5月21日)

団016-1

国土交通省関東地方整備局  
甲府河川国道事務所長 吉岡 大蔵 様

## 中部横断自動車道(長坂～八千穂)に関する要望

平成25年5月21日

一般社団法人北杜市観光協会  
[Redacted]

団016-2

## 中部横断自動車道(長坂～八千穂)の早期整備に関する要望

八ヶ岳南麓地域は、豊かな自然や様々な施設により四季を通じ、子供から大人まで楽しめる県内有数のリゾートエリアです。

中部横断自動車道は、新東名高速道路、中央自動車道、上信越自動車道を結ぶ高速道路であり、この道路が整備されることにより、首都圏や中京圏からのアクセス性が向上することや、八ヶ岳地域と軽井沢などを結ぶ広域的な観光ゾーンの形成による新たな周遊観光エリアが創出されることなどの効果により、観光の発展に寄与するとともに、物流における輸送時間が短縮されることなど、周辺地域の産業、経済などの活性化にも寄与するものと期待しております。

さらに、東海地震などの大災害の発生時には、緊急輸送路として、地域住民の救助・救援に必要不可欠な道路でもあります。

つきましては、中部横断自動車道(長坂～八千穂)の計画検討あたりまして、次の項目にご配慮を賜りますようお願いいたします。

- 基本計画区間を整備計画区間へ格上げし、早期の整備を図ること
- 環境保全・景観保護に十分に配慮した道路整備を実現すること
- ワーキンググループで検討しているルートについては、清里へのアクセスに優れる“B案”とすること

一般社団法人北杜市観光協会  
[Redacted]



# ■「公益社団法人キープ協会」からの要望(平成25年5月21日)

団017

中部横断自動車道（長坂～八千穂）建設計画に関する要望

中部横断自動車道（長坂～八千穂）の建設計画の検討にあたっては、次の事項にご配慮のうえ、建設推進を要望いたします。

「道路の建設および運用」と「後世に残すべき豊かな自然」の両立。

- ・環境と景観に配慮した道路開発ルート・工法であること
- ・生物多様性を保全し、一体化した自然を守るものであること

「観光」および「滞在先進地」の模範となるような道路を作る。

- ・広域観光地同志をつなぐアクセス性
- ・災害時の緊急通行路・物資搬送路の役割
- ・地域の生活・救急医療施設へのアクセス性

平成25年5月21日

国土交通省関東地方整備局

甲府河川国道事務所長 吉岡 大蔵 様

公益財団法人キープ協会



# ■「山梨県女性団体協議会」からの要望(平成25年5月22日)

団018

## 中部横断自動車道(長坂～八千穂)に関する要望

中部横断自動車道(長坂～八千穂)の計画の検討にあたっては、次の事項にご配慮願います。

- 早期に整備していただいたい。
- インターチェンジを多く設置していただいたい。
- 環境、景観に配慮して建設していただいたい。

以上。

平成25年5月22日

国土交通省関東地方整備局  
甲府河川国道事務所長 吉岡 大蔵 様

山梨県女性団体協議会



# ■「社団法人山梨県建設業協会」からの要望書(平成25年5月23日)

団019-2

## 中部横断自動車道(長坂〜八千穂)整備に関する要望

中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点に、山梨県甲斐市を経由し長野県小諸市に至る延長百三十二キロメートルの高速自動車国道であります。  
中部横断自動車道が整備されることにより、日本海及び太平洋の臨海地域と長野・山梨県との連携・交流が促進され、本県にとって、その整備効果は計り知れず、早い実現に大きな期待が寄せられ、現在、中部横断自動車道の増穂以南については、平成二十九年度までの全線供用を目指し建設工事の促進が鋭意図られており、大変感謝をいたしております。

しかし、長坂・八千穂間については、計画段階評価で、地元意見を聴取しつつ、ルートの選定作業を行っているところであります。

このような中、一昨年の東日本大震災では、高速道路がいち早く復旧し、災害活動の復旧・復興活動に大きな役割を果たしており、改めてその必要性が認識されたところであります。

本県においても、今後発生することが予測される、東海・東南海・南海の三連動地震、および首都圏直下型地震等から、本県や静岡県、長野県、さらには北関東・東北地方を結ぶ環状ネットワークを形成し、大規模災害時における代替道路を確保するためにも、長坂・八千穂間は「命の道」として高速道路の整備が必要不可欠であります。

また、第三次緊急医療施設への短時間での搬送による救命や観光振興など地域・経済の活性化、さらに周辺一般道路の安全性向上等のためにも、必要な不可欠な重要道路であります。

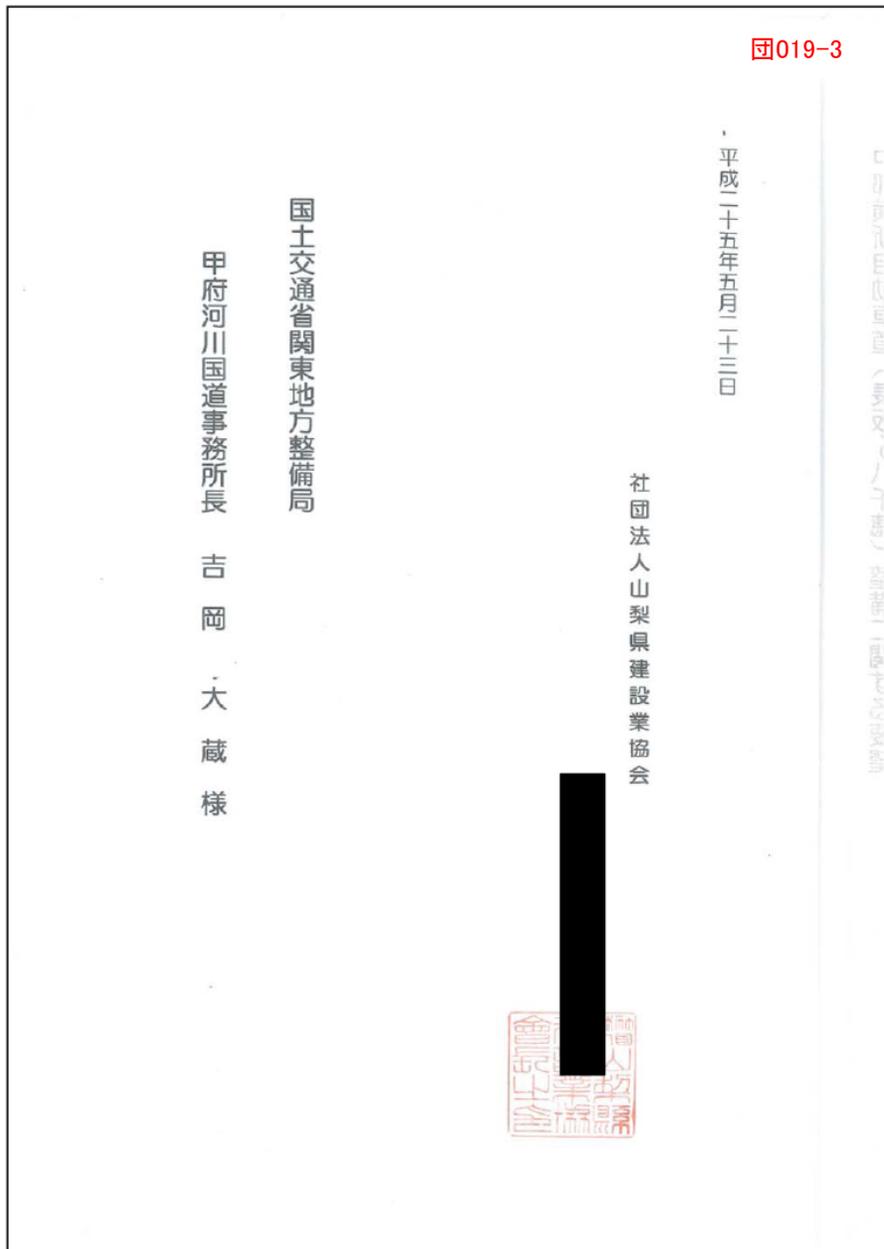
このため、地元自治体等に対し土地利用、自然環境や景観、観光地へのアクセス性等に配慮しつつ、早期に最適ルートの決定を行い、早期に整備計画決定更には施工命令の決定をお願い致すところであります。

団019-1

## 要 望 書

社団法人 山梨県建設業協会

# ■「社団法人山梨県建設業協会」からの要望書(平成25年5月23日)



# ■「北杜市商工会」からの要望書(平成25年5月23日)

団020

中部横断自動車道（長坂～八千穂）に関する要望書

中部横断自動車道（長坂～八千穂）の計画の検討にあたっては、次の事項にご配慮願います。

- 長坂～八千穂間の基本計画区間を早期に整備区間に格上げし、中部横断道全線開通に早期実現を要望します。
- ハケ岳地域にインターチェンジ等をニヶ所設置し、これらを活用した商業施設等の地域活性化施設の建設を要望します。
- ハケ岳地域は、自然を生かした観光立地であるので、景観に配慮した道路建設を要望します。

平成 25 年 5 月 23 日

国土交通省関東地方整備局  
甲府河川国道事務所長 吉岡大藏 様

北杜市商工会



# ■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの要望書 (平成25年5月28日)

国021-1

2013年5月28日

国土交通大臣 太田昭宏 殿  
社会資本整備審議会道路分科会関東小委員会委員長 石田東生 殿  
国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所長 吉岡大蔵 殿

## 中部横断自動車道（長坂～八千穂）の「計画段階評価」に関する 申入れ書の回答に対する抗議と再回答の要望書

去る4月12日、甲府河川事務所において、小林事業対策官より口頭にて説明された「国土交通省の正式回答」について以下の理由により抗議し、再回答を求める。

- ① 当該申入れ書は、国交省大臣及び社会資本整備審議会関東地方小委員会に対しての「申入れ書」にもかかわらず、国交省内部の討議に留まっており、地元説明会での対応と何ら変わらない内容であった。昨年10月4日の地方小委員会において石田委員長は「山梨県側は今後もことんコミュニケーションをとって良いものにして、将来禍根を残さないようにしていきたい」、また「説明会、意見交換会などは一方的ではなく、お互いに話、対話ができる双方向のコミュニケーションが必要だと思っている」との発言もあった。既に行われた「地元説明会」では、沢山の反対意見が出されており、国交省のみで回答できない質問が山積し、未だ解決されておらず、双方向のコミュニケーションとはなっていない。早急に小委員会メンバーを含めて検討・討議し（公開にて開催）、昨年来届けられている各団体の「要望書・申入れ書」を含めた文書による回答を求める。
- ② 小林事業対策官より「小委員会に伝える」との発言が今回も含め、地元説明会の時から再三でているが、具体的な「回答」が無い限り、ガス抜き・アリバイ作りとしか言えない。住民に対する国交省のこれまでの対応は極めて不誠実で、平成23年第1回小委員会（平成23年7月7日）で「丁寧に住民の意見を聞く事が大事」・「丁寧に対応すべき」、平成24年第2回小委員会（平成24年10月4日）には「WGの実施にあたっては、丁寧なコミュニケーション活動を行っていく必要がある」との議事概要にある委員の合意事項に反している事は明らかである。この様な古典的な従来型の関東地方整備局の対応については強く是正を求め、試行段階にある「計画段階評価」が新しい道作りの新モデルとなるよう、計画段階から地域住民の民意が計画に反映される「P I（パブリックインボルブメント）による市民参画型道づくり」を政策手法に取り入れるよう、小委員会より分科会長へ具申を行うよう要望する。

国021-2

（※小委員会運営規則第二条2：整備局の報告に対し意見がある場合に、分科会長に対してその具申を行う事・・・と規定あり）

- ③ 「なぜ長坂なのか、その決定経緯」については、地元説明会のレベルと全く変わらない回答に留まっており、最終の地元説明会（平成25年2月16日）が終了して2ヵ月以上経過したにも関わらず、何をしていたのか疑問である。  
長坂分岐の根拠となる「議事録」の公開を求める。
- ④ 「141号改良案」について
  1. 平成23年度第2回小委員会（平成23年10月5日）の審議において、「第1回アンケートで頂いたご意見の中にも、141号の改良を先ずやるべきではないか等、色々と現道改良に関してのご意見を頂いて、現道をしっかり改良して行く案の一つ立てさせて頂いた」として、「住民の意見を丁寧に聞くべき」とした小委員会の意見を真摯にとらえ、関東地方整備局が自ら出したのが、「代替え案＝141号改良案」である。にもかかわらず、平成24年に発表された「中間とりまとめ」では「高速道路整備が有効」と結論づけた。第2回アンケートの①案～③案中「概ねの費用」では③案の「約1,300～1,400億円」が最も安く「整備コストが掛かる」とした小林事業対策官の回答は整合性に欠ける。
  2. 新ルートとの差額は最も安く200億円であるが、多額の債務を抱える日本国において、「経費削減」は必要不可欠かつ急務であり、住民の希望が多く最も低コストで対応できる「141号改良案」をより深く検討する事が国土交通省及び地方小委員会に課せられた職務である。  
時世を考えた丁寧な審議を要求する。
- ⑤ 「アンケートの問題点」について
  1. 平成23年度第1回小委員会（平成23年7月7日）議事概要にもあるように、第1回アンケートでは、地域による回答率の格差や、北杜市の自治体と住民アンケートの意見に差がある事、他の事例として400回もオープンハウスを行った事例を上げ「丁寧な対応をすべき」として、平成23年10月5日に臨時の小委員会を行い、丁寧な対応を行った。しかしながら、第2回アンケート後の平成24年第1回小委員会（平成24年4月12日）では、アンケートの集計方法の欠陥について二村委員や他の委員からも指摘があったにもかかわらず、「事務局と相談して、メール等で意見を伺う」として臨時の小委員会を開く事もなく、最終的に「中間とりまとめ」を発表した。この間の審議についての詳しい議事録は公開されておらず、到底納得のいく説明はなされていない。メールを含めた詳細の議事録の公開を要求する。
  2. 第2回アンケートの設問1. 課題を解決するための目標について（重要と思うものを3つ選択）では、北杜市では⑤現道の走行性・安全性の向上 ⑥環境・景観の保全 を選択した人が突出して多かった。これは、北杜市民の

# ■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの要望書

(平成25年5月28日)

国021-3

「周辺地域の課題」が国道141号の走行性の改善と安全性の確保や環境・景観を保全する事であり、「高速道路整備」では課題を解決できない事を示している。

「災害時の代替え路確保」「生産品の輸送時間短縮」「救急医療施設への移動時間短縮」などの課題に対する効果を総合的に判断して「高速道路が有効」と強引に結論づけた小委員会の「中間とりまとめ」には整合性がない。

「個々の意見を小委員会に反映させる事を目的としたアンケート」に北社市民の民意は反映されておらず、多額の費用と時間をかけて行ったアンケートの意義が無く、「アンケートの配付・集計方法の問題」以上の根本的な問題である。小委員会の見解を明らかにする事を求める。

⑥ 国土交通省・社会資本整備審議会道路分科会建議中間とりまとめ（平成24年6月12日）によると、今後の厳しい財政状況の問題・既存の道路の本格的な老朽化に伴う維持管理費増大の問題・一定の道路整備が形成された今日では、国民のニーズは「今ここにある道路」の改善に移行しつつある・・・等々、国交省自身が「高速道路未整備区間の一般道の活用」を提案している。国土交通省の優先機関である関東地方整備局、及び地方小委員会委員（WG座長・久保田尚氏は道路分科会メンバー）の低い現状認識に関して強く抗議するとともに、改善を求める。

⑦ 現在、北社市内では「八ヶ岳を横断する高速道路に反対する住民」に対する嫌がらせが起きている。高速道路反対立看板への悪戯、高速道路反対ステッカーの模倣偽造（NO→YESに書き換える）等。この様に「高速道路建設問題」が「地域を分断する問題」へと変貌し、新たな「地域の課題」を作り上げてしまった事を国土交通省・地方小委員会も認識し、自らが負っている重責を「透明・公正で科学的裏づけのあるデータをもとに」（第1回地方小委員会（平成22年12月2日）の石田委員長冒頭の挨拶より引用）真摯に全うされるよう要望する。

この事態を民主的に解決するために、国交省が基本理念としている「双方向のコミュニケーション」を行う場として、石田東生委員長、久保田座長との面談を強く求める。

中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会

# ■「八ヶ岳青年会議所シニアクラブ」からの要望書(平成25年5月30日)

## 要望書

団022

### 中部横断自動車道「長坂～八千穂」間の早期整備に向けて

八ヶ岳南麓地域は、自然豊かで四季を通じて楽しめる全国でも有数の観光地であり、地域住民や子供たちにとっても自然環境の中で心豊かな生活を送っている所でもあります。

しかしながらこの地域は過疎化、少子化が顕著で地域の経済活動が停滞しています。我々「八ヶ岳青年会議所シニアクラブ」会員はほとんど商工業者であり地域経済の一翼を担って日々、地域発展の為励んでいるところではありますが、経済の低迷に翻弄されている昨今であります。このような時代を乗り越えるため、地域の産業、経済活動の活性化の礎として、災害発生時の緊急輸送の「命の道」としてもこの中部横断自動車道は不可欠であり早期整備を要望いたします。

#### 要望項目

- (1) 景観 環境 騒音等に十分配慮した道路整備が望ましい
- (2) ルートは地域へのアクセスに優れた「B案」が望ましい
- (3) 地域の産業、観光、経済活動に寄与する道路整備が望ましい

上記三項目を要望いたします。

平成 25 年 5 月 30 日

国土交通省関東地方整備局

甲府河川国道事務所長 吉岡 大蔵 様

山梨県知事 横内 正明 様

北杜市長 白倉 政司 様

八ヶ岳青年会議所シニアクラブ  


# ■「中部横断自動車道経済懇談会」からの要望(平成25年5月31日)

団023

## 中部横断自動車道(長坂～八千穂間)の 早期実現の要望

中部横断自動車道は、日本列島の中央部で太平洋と日本海を結ぶ高速道路であり、全線開通により山梨県が静岡県や長野県と結ばれるだけでなく、東名・新東名・中央・上信越の各高速道路が接続されるため、工業製品や農産物の運搬や、広域的な観光客の増加などに良い影響をもたらす、沿線市町村、更には山梨全県の産業・経済・観光・文化等の大きな活力になるものと大きく期待を寄せ、早期の実現を願ってやみません。

ここで、中部横断自動車道の新東名高速道路～増穂間については、平成29年度の開通を目指していると認識しておりますが、長坂～八千穂間については、依然として基本計画区間であり、工事着手が見えておりません。

つきましては、長坂～八千穂間について、次の事項に特段のご配慮を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

### 要望事項

1. 基本計画区間を整備計画区間へ格上げし、早期に整備すること
2. 計画にあたっては、地域経済活性化のためアクセス性の向上に配慮すること
3. ハヶ岳南麓地域のすばらしい景観や美しい自然に配慮すること

平成25年5月31日

中部横断自動車道経済懇談会

